

2019年度 中学入試出典一覧 著者名50音順 (2月作成版)

(概評)

今年度も、説明的文章においては新しい本(新書等)を中心に、科学・思想・自然・言語・現代社会など、さまざまなジャンルからの出題が見られました。説明的文章に図表を用いるなど、テキスト内容に最近の傾向がやや出ているものも目につきました。文学的文章では、学校によって、新刊を出すところ、古典的な作家を出すところ、先生の好みをふくめて、かなり幅広い出題であることも例年通りでした。中学入試問題の対象となる作品が、ジュニア向けから大人まで幅広い範囲となっていて、バラエティに富んでいました。

昨年の新刊書籍の中から、今年度の中学入試で多数の学校が出題している本をピックアップしました。

○稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』(ちくまプリマー新書)

出題校Ⅱ大妻一回・青山学院横浜英和A・浦和実業第1回午後・開智未来①・城北埼玉二回

(内容) 稲垣栄洋さんの植物に関する説明文は、新刊が出るたびに入試問題の人気出典になるという感じです。説明文では現在この人が一番「中学入試によくでる」著者。今回も「雑草」をテーマにした、植物の戦略的な生存のひみつを解き明かしていて面白いです。

○こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ』(講談社)

出題校Ⅱ栄光学園・海城(一般)①・桐朋二回・鎌倉女学院二次

(内容) タイトルの「リマ・トウジュ・リマ・トウジュ」はマレーシア語で「五・七・五・七・七」。主人公はマレーシアからの帰国子女で中学2年生・沙弥。クラスに溶け込めないでいたある日、短歌の「吟行」に誘われます。思春期のさまざまな悩みと成長をえがく青春小説。

1 著者名50音順

【説明的文章】(論説文・説明文・解説文・随想・新聞のコラム等)

青木 淳『原っぱ遊園地』渋谷教育幕張 二次

浅田次郎『考える葦』慶應義塾普通部

池内 了『科学の考え方・学び方』東京女学館4回

池谷裕二『できない脳ほど自信過剰』専大松戸(第一回)・春日部共栄②午後

池谷裕二『脳には妙なクセがある』聖光学院一回

泉谷玄作『日本の花火はなぜ世界一なのか』埼玉栄 第2回午後

井田 齊『魚はすごい』巣鴨第1期

井田徹治『生物多様性とは何か』國學院久我山一回午前

伊藤公一朗『データ分析の力』開智1回

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』大妻一回・青山学院横浜英和A・浦和実業第1回午後・開智未来①・城北埼玉二回

稲垣栄洋『植物はなぜ動かないのか』公文国際B・吉祥女子一回

稲垣えみ子『アフロ記者が記者として書いてきたこと 退職したから書けたこと』灘二日目

井上史雄『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』江戸川学園取手2回

今福龍太『学問の殻を破る 世界に向けて自己を開放すること』獨協埼玉一回

岩井克人『おカネとコトバと人間社会』弘学館

岩本茂樹『自分を知るための社会学入門』立教新座

内田 樹『先生はえらい』西大和学園(県外)

内沼晋太郎『これからの本屋読本』学習院中等科二回

宇根 豊『農は過去と未来をつなぐ』栄東A日程・青雲

榎本博明『「対人不安」って何だろう?』共立女子(2/2)

榎本博明『「すみません」の国』青山学院

榎本博明『「ほんとうの自分」のつくり方』神奈川大附属B

大竹文雄『競争社会の歩き方』國學院久我山(2回)

岡田暁生『音楽の聴き方』フェリス

岡田美智男『弱いロボットの思考』昭和学院秀英(1回)

- 小川洋子『物語の役割』青山学院横浜英和A
小野雅裕『宇宙に命はあるのか 人類が旅した一千億分の八』横浜雙葉
かこさとし『未来のだるまちゃんへ』桐朋一回
柏木 博『「しきり」の文化論』中央大学附属横浜一回
片岡一竹『疾風怒濤精神分析入門』東京農大一中(一回)
加藤周一『読書術』明大付属明治一回
加藤秀俊『暮らしの思想』獨協埼玉二回
加藤秀俊『社会学 わたしと世間』攻玉社一回
角幡唯介『新・冒険論』ラ・サール
門脇厚司『子供の社会力』埼玉栄 第3回
萱野稔人『社会のしくみが手に取るようにわかる哲学入門』開智・先端特待
河合雅司『未来の年表』茗溪学園①
川井龍介『社会を生きたための教科書』青山学院横浜英和B
姜尚中『君に伝えたいこと 15歳のレッスン』武南①午前
菅野 仁『友だち幻想』中央大学附属横浜二回・星野学園(理数選抜第2回)・盛岡白百合(首都圏)
北村良子『論理的思考を鍛える33の思考実験』清泉女学院一回
くこうえり『だれもが使えるものづくり』埼玉栄 第1回午前
工藤和男『くらしを立てる』大宮開成【英数特科コース】
栗山さやか『ひとりではじめてアフリカボランティア』日本女子大附属一回
河野哲也『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』神奈川大附属A
鴻巣友季子『翻訳ってなんだろう? あの名作を訳してみる』鷗友学園女子1回
國分功一郎『中動態の世界 意志と責任の考古学』渋谷教育渋谷2回
小浜逸郎『「弱者」とはだれか』西武学園文理特選・一貫①
斎藤亜矢『要、不要』海城(一般①)
斎藤 環『つながることと認められること』春日部共栄②午前
斎藤 孝『読書力』開智先端A・東京女学館1回
斎藤 孝『まねる力 模倣こそが想像である』専大松戸(第二回)
斎藤 孝『コメント力 「できる人」はここがちがう』城北埼玉一回
佐倉総・古田ゆかり『おはようからおやすみまでの科学』茗溪学園推薦
佐藤友亮『身体知性 医師が見つけた身体と感情の深いつながり』江戸川学園取手1回
佐藤 卓『塑する思考』佐久長聖(東京①)
佐藤雅彦『考えの整頓』清泉女学院二回
沢木耕太郎『銀河を渡る 全エッセイ』灘一日目
真田信治『方言は気持ちを伝える』春日部共栄①午前
榎木野衣『感性は感動しない 美術の見方・批評の方法』中央大学附属一回・サレジオ学院
更科 功『絶滅の人類史 なぜ「私たち」が生き延びたのか』岡山白陵
汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』西南学院・獨協埼玉三回・麗澤(第二回)・逗子開成三回・頌栄女子学院一回
白水 智『古文書はいかに歴史をえがくのか』桐光学園(二回)
清水義範『行儀よくしろ。』栄東B日程
生源寺眞一『農学が世界を救う』昭和学院秀英(2回)
須賀敦子『ほめる』共立女子(2/1)
杉浦明平『雑草世界の近代化』鎌倉学園2次
杉原厚吉『スウガクって、なんの役に立ちますか?』逗子開成一回
鈴木 透『スポーツ国家アメリカ』市川①
鈴木紀之『すごい進化』慶應湘南藤沢
瀬戸賢一『日本語のレトリック』明大付属明治二回
高階秀爾『日本人にとって美しさとは何か』浦和明の星女子一回・鎌倉学園3次

高槻成紀『動物を守りたい君へ』星野学園(進学第1回)
高槻成紀『野生動物への2つの視点』光塩女子一回(国語基礎)
高村是州『ファッション・ライフの楽しみ方』埼玉栄 第4回
瀧野隆浩『これからの「葬儀」の話しよう』江戸川学園取手1回
田口幹人『まちの本屋、知を編み、血を継ぎ、地を耕す』共立女子(2/1)
田中 修『植物のひみつ』筑波大附属・白百合学園(一般)
田中俊之『男がっらいよ 絶望の時代の希望の男性学』埼玉栄 第1回午後
谷岡一郎『データはウソをつく』岡山B
谷崎潤一郎『文章読本』高輪A
辻 信一『弱虫でいいんだよ』大宮開成(特待生選抜)・湘南白百合
鶴原吉郎『EVと自動運転 クルマをどう変えるか』品川女子学院一回
鄭 雄一『東大理系教授が考える道徳のメカニズム』昭和学院秀英(3回)
寺田寅彦『天国と国防』渋谷教育幕張一次
寺田寅彦『科学者とあたま』雙葉
富田啓介『はじめて地理学』鎌倉女学院二次
外山滋比古『思考の整理学』鎌倉学園1次・逗子開成二回
外山滋比古『マコト』より「ウソ」の法則』城北埼玉一回
中澤二郎『働く、なぜ』麗澤(第一回)
中村桂子『いのち愛づる生命誌』春日部共栄③
中村桂子『水も土も生き物の視点から』早稲田学院
野矢茂樹『語りえぬものを語る』浦和実業 第1回午前
萩原さちこ『図説・戦う城の科学』開智(未来・未来選抜A)
橋爪大三郎『正しい本の読み方』愛光
橋爪大三郎『面白くて眠れなくなる社会学』芝浦工大柏一回
橋本 治『ちゃんと話すための敬語の本』成蹊一回
東野圭吾『滅びるものは滅びるままに』東邦大附属東邦(推薦・帰国生)随想
樋口清之『日本人の育ての知恵』栄東(東大選抜II)
日高敏隆『春の数えかた』星野学園(総合選抜)
日高敏隆『動物たちの自意識』鎌倉女学院一次
平岩時雄『99%の人が速くなる走り方』宮崎日本大(前期)
平川克美『21世紀の楯田幻想論 その日暮らしの哲学』聖光学院二回
福岡伸一『新版 動的平衡』青山学院・渋谷教育渋谷3回
福岡伸一『生物と無生物の間』宮崎日本大(首都圏)
福島 英『声のトレーニング』武南①午後
藤田正勝『日本文化をよむ 5つのキーワード』光塩女子二回
ペーター・ヴォールレーベン『樹木たちの知られざる生活 森林管理官が聴いた森の声』女子学院
保坂和志『生きる歓び』渋谷教育渋谷1回
前田英樹『何のために「学ぶ」のか』普連土学園一回
前野ウルド浩太郎『バッタを倒しにアフリカへ』芝二回
松原耕二『本質をつかむ聞く力 ニュースの現場から』横浜共立
松村圭一郎『うしろめたさの人類学』青雲・開成・香蘭女学校・豊島岡女子一回
正高信男『ニホンザルのここを探る』栄東(東大選抜I)
宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』本郷一回
群ようこ『本との距離』巣鴨第I期
最上敏樹『いま平和とは』渋谷教育渋谷1回
茂木健一郎『化粧する脳』春日部共栄①午後
本川達夫『生き物は円柱形』桐光学園(一回)

元村有希子『気になる科学』東邦大附属東邦（前期）
森 達也『たったひとつの「真実」なんてない』早稲田一回
森 毅『まちがったっていいじゃないか』公文国際A
森 博嗣『孤独の価値』芝浦工大柏二回
森 博嗣『集中力はいらない』埼玉栄 第2回午前
森 博嗣『読書の価値』東京都大付属一回・立教女学院
森田良行『気持ちを表す「基礎日本語辞典」』佐久長聖（東京①）
森山 徹『モノに心はあるのか』東京農大一中（一回）
安田正美『単位は進化する 究極の精度をめざして』洗足学園一回
山極寿一『ゴリラからの警告 人間社会、ここがおかしい』桜蔭・淑徳与野一回
山口 周『武器になる科学』西大和学園（県内）
山口真美『自分の顔が好きですか？「顔」の心理学』早稲田佐賀A
山崎広子『声のサイエンス』栄光学園・星野学園（理数選抜第1回）
行宗蒼一『勉強っていいいやするもの？』星野学園（進学第2回）
好井浩昭『今、ここ』から考える社会学』大妻嵐山①
吉川 洋『人口と日本経済』江戸川学園取手2回
吉田篤弘『京都で考えた』桐朋二回
吉田夏彦『なぜと問うのはなぜだろう』開智（未来・未来選抜B）
ロジャー・パルパース『驚くべき日本語』青山学院横浜英和B
ロメオ・ダレール『なぜ、世界はルワンダを教えなかったのか』芝一回
脇 明子『読む力は生きる力』富士見一回
鷺谷いずみ『さとやま』開智・先端B
若田行一『続ける力』佐久長聖（東京②）
渡邊格『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』世田谷学園一次
渡辺一夫『素敵な石ころの見つけ方』大妻二回
渡辺淳一『読書について 断片的に』西武学園文理特選・一貫②

【文学的文章】（物語・随筆・紀行文）

相沢沙呼『雨の降る日は学校に行かない』「ねえ、卵の殻が付いている」芝一回
赤澤竜也『吹部！』春日部共栄①午前
芥川龍之介「白」清泉女学院二回
朱川湊人『凍蝶』大宮開成（特待生選抜）
麻宮ゆり子『碧と花電車の街』國學院久我山一回午前
有川 浩『アンマーとぼくら』埼玉栄 第1回午前
有川 浩『クジラの彼』埼玉栄 第3回
有川 浩『明日の子供たち』早稲田一回
有島武郎『一房の葡萄』星野学園（進学第2回）
有吉玉青『ソボちゃん いちばん好きな人のこと』共立女子（2／2）
アルトゥーロ・ヴィヴィアンテ『灯台』慶應義塾普通部
安東みきえ『満月の娘たち』専大松戸（第二回）
安東みきえ『天のシーソー』麻布
安藤祐介『本のエンドロール』江戸川学園取手1回
石井桃子『近い時計屋と遠い時計屋』東邦大附属東邦（後期）
石川宏千花『少年Nの長い長い旅』埼玉栄 第2回午前
石井睦美『連帯のメールを送る』豊島岡女子一回
石田 千『みどりちゃんの友だち』東邦大附属東邦（推薦・帰国生）

伊集院静『切子屋』逗子開成二回

泉ゆたか『お師匠さま、整いました』早稲田佐賀A
乾 ルカ『花が咲くとき』浦和実業 第1回午前

井上 靖『しろばんば』開智・先端特待

今井恭子『ぼくのわがまま宣言!』明大付属中野一回

今江祥智『雪の帽子』盛岡白百合(首都圏)

岩城けい『Masato』渋谷教育幕張 一二次

岩瀬成子『地図を広げて』愛光・学習院女子A

上野哲也『ニライカナイの空で』鎌倉学園2次

魚住直子『クマのあたりまえ』東京都大付属一回

梅崎春生「魚の餌」フェリス

大山淳子『あずかりやさん』慶應湘南藤沢

岡野薫子『桃花片』東京女学館1回

小川 糸『つばさのおくりもの』春日部共栄①午後

小川 糸『キラキラ共和国』桐朋一回

小川洋子『キリコさんの失敗』埼玉栄 第4回

小川洋子 「かわいそうなこと」立教新座

荻原浩『空は今日もスカイ』開成

奥田亜希子『クレイジー・フォー・ラビット』ラ・サール

小野寺史宣『梅雨明けヤジオ』浦和明の星女子一回

恩田 陸『蜜蜂と遠雷』栄東(東大選抜I)

恩田 陸『夜のピクニック』星野学園(総合選抜)

角田光代「ランドセル」中央大学附属一回

梶井基次郎「矛盾の様な真実」西大和学園(県外)

桂 望実『ボーイズ・ビー』茗溪学園推薦

門井慶喜『銀河鉄道の父』本郷一回

川上未映子『あこがれ』成蹊一回

河崎秋子『頸、冷える』東邦大附属東邦(前期)

菊池 寛『マスク』東邦大附属東邦(後期)

菊池 寛『弁財天の使』開智・先端B

如月かずさ『給食アンサンブル』國學院久我山(2回)

如月かずさ「マーボー豆腐」(『飛ぶ教室47号』)栄東B日程

喜多川泰『君と会えたから』麗澤(第一回)

久保寺健彦『青少年のための小説入門』サレジオ学院

薫くみこ『ぜんぶ夏のこと』埼玉栄 第2回午後

ケストナー『飛ぶ教室』穎明館①

神津カンナ『冷蔵庫が壊れた日』灘二日目

小島陽太郎『ぼくのとなりにきみ』暁星

小手鞠るい『心の森』宮崎日本大(前期)

こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ』栄光学園・海城(一般①)・桐朋二回・鎌倉女学院二次

是枝裕和『万引き家族』高輪A

近藤史恵『さいごの毛布』聖光学院一回

佐川光晴『大きくなる日』青山学院

さだまさし『ちゃんぼん食べたかっ!』獨協埼玉一回

佐藤多佳子『サマータイム』星野学園(理数選抜第1回)

佐藤まどか『一〇五度』浦和実業第1回午後・城北一回・横浜共立

重松 清『デンチュウさんの傘』埼玉栄 第1回午後

重松 清『南小、フォーエバー』武南①午前
下村湖人『論語物語』麗澤(第二回)
白岩 玄『世界のすべてのさよなら』昭和学院秀英(1回)
杉本りえ『100年の木の下で』香蘭女学校
鈴木るりか『さよなら、田中さん』桐光学園(一回)
須賀敦子『アルキビアデスの笛』市川①
瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』開智・未来・未来選抜A
瀬戸内寂聴『青い花』横浜雙葉
高田由紀子『君だけのシネマ』岡山白陵
高樓方子『時計坂の家』清泉女学院一回
高橋弘希『送り火』浅野
瀧羽麻子『ありえないほどうるさいオルゴール』淑徳与野一回・栄東(東大選抜Ⅱ)・立教女学院
田口ランディ『リクと白の王国』湘南白百合
田中彩子『天狗ノオト』茗溪学園①
知野みさき『鈴の神さま』洗足学園一回
辻 仁成『そこに君がいた』青雲
辻村深月『青空と逃げる』大妻二回・渋谷教育渋谷3回
辻村深月『島はぼくらと』獨協埼玉二回
辻村深月『家族シアター』中央大学附属横浜二回・大妻嵐山①・頌栄女子学院一回
辻村深月『ロードムービー』宮崎日本大(首都圏)
辻村深月『サクラ咲く』早稲田二回・鎌倉女学院一次
徳田秋声『初奉公』攻玉社一回
豊島ミホ『夜の朝顔』獨協埼玉三回
戸森しるこ『夏と百花とカルピスと』駒場東邦
ドリアン助川『台風のとと』多摩川物語』東洋英和女学院A・帰国生
中島たい子『がっかり行進曲』逗子開成三回
中田永一『くちびるに歌を』大宮開成【英数特科コース】
中田永一『宗像くんと万年筆事件』西武学園文理特選・一貫①
中脇初枝『神に守られた島』武蔵・桜蔭
梨屋アリエ『ギズナキス』春日部共栄③
夏川草介『五月の贈り物』女子学院
新美南吉『花のき村と盗人たち』芝浦工大柏二回
西加奈子『おまじない』大妻一回・佐久長聖(東京②)・品川女子学院一回
にしがきようこ『ピアチェレ 風の歌声』弘学館
似鳥 鶏『午後からはワニ日和』開智1回
額賀 滂『風に恋う』開智・未来①
額賀 滂『完パケ!』聖光学院二回
橋本 紡『永代橋』(いつかのきみへ) 栄東A日程
馳 星周『雨降る森の犬』開智・未来・未来選抜B
濱野京子『その角を曲がれば』神奈川大附属A
葉室 麟『さわらびの譜』江戸川学園取手2回
原田マハ『でーれーガールズ』武南①午後
原田マハ『リーチ先生』光塩女子二回
東 直子『いとこの森の家』西南学院
藤岡陽子『手のひらの音符』中央大学附属横浜一回
藤岡陽子『いつまでも白い羽根』吉祥女子一回
藤野恵美『シヨコレティエ』大妻三回

藤原新也『名前のない花』白百合学園（一般）
舟崎克彦『雨の動物園』芝二回
星 新一『ポッコちゃん』公文国際A
堀江敏行『なずな』渋谷教育渋谷2回
堀米 薫『林業少年』普連土学園一回
本田有明『メロンに付いていた手紙』学習院中等科二回
松浦寿輝『川の光』東京女学館4回
水口博也『世界の海へ、シヤチを追え！』大妻三回
光野 桃『実りの庭』日本女子大附属一回
美奈川護『弾丸スタントヒーローズ』神奈川大附属B
宮澤賢治『クンねずみ』芝浦工大柏一回
宮下 聰『中学生になったら』穎明館①
宮下奈都『よるこびの歌』公文国際B
宮下奈都『つぼみ』青山学院横浜英和B
宮下奈都『ふたつのしるし』星野学園（進学第1回）
室生犀星『幼年時代』西武学園文理特選・一貫②
村上春樹『職業としての小説家』浅野
村山早紀『百貨の魔法』岡山B
群ようこ『豪快一路で花開け』逗子開成一回
森 絵都『クラスメイツ』青山学院横浜英和A・桐光学園（二回）・星野学園（理数選抜第2回）
森 絵都『子供は眠る』城北埼玉二回
森 浩美『家族ずっと』昭和学院秀英（3回）
森沢明夫『ヒカルの卵』昭和学院秀英（2回）
森谷明子『南風吹く』春日部共栄②午前
森埜こみち『わたしの空と五・七・五』鷗友学園女子1回
安田夏菜『レイさんといた夏』富士見一回
八束澄子『ぼくらの山の学校』筑波大附属
柳月美智子『しずかな日々』鎌倉学園1次
山田詠美『ぼくは勉強ができない』西大和学園（県内）
山田太一『夕暮れの時間に』早稲田二回
山本悦子『犬がすきなぼくとおじさんとシロ』学習院女子（帰国生）
唯川 恵『淳子のでっぺん』春日部共栄②午後・専大松戸（第一回）
横沢 彰『ナイスキャッチ！ III』佐久長聖（東京①）
吉田篤弘『レインコートを着た犬』開智・先端A
吉村 康『父の列車』鎌倉学園3次
吉屋信子『鈴蘭』早稲田学院
若竹千佐子『おらおらでひとりでいくも』渋谷教育幕張一次

【詩・短歌・俳句】（解説文を含む詩歌の出題もこちらに分類）

岡島弘子 詩「パッチワークと刺繍」灘二日目
白井明大『一日の言葉 一生の言葉 旧暦でめぐる美しい日本語』（俳句）大妻一回
財部鳥子 詩『水とモンゴル』共立女子（2／2）
谷川俊太郎 詩「祝婚」青山学院
日本短歌総研『誰にも聞けない短歌の技法Q&A』大妻二回
花森安治 詩『灯をともし言葉』共立女子（2／1）
穂村弘・堀本祐樹『短歌と俳句の五十番勝負』大妻三回

三好達治 詩三編（「土」「信号」「チューリップ」） 東京都市大付属一回
吉野 弘 詩「夕焼け」 佐久長聖（東京②）
童謡の歌詞『鯉のぼり』 雙葉
俳句（12句） 灘一日目

2019年 学校別・中学入試出典一覧

【共学校】

愛光

橋爪大三郎『正しい本の読み方』

岩瀬成子『地図を広げて』

青山学院

谷川俊太郎 詩「祝婚」

福岡伸一『新版 動的平衡』

榎本博明『「すみません」の国』

佐川光晴『大きくなる日』

青山学院横浜英和A

小川洋子『物語の役割』

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』

森 絵都『クラスメイツ 後期』

青山学院横浜英和B

川井龍介『社会を生きたための教科書』

ロジャー・パルパース『驚くべき日本語』

宮下奈都『つぼみ』

市川①

鈴木 透『スポーツ国家アメリカ』

須賀敦子『アルキビアデスの笛』

浦和実業 第1回午前

野矢茂樹『語りえぬものを語る』

乾 ルカ『花が咲くとき』

浦和実業 第1回午後

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』

佐藤などか『一〇五度』

穎明館①

ケストナー『飛ぶ教室』

宮下 聰『中学生になったら』

江戸川学園取手1回

安藤祐介『本のエンドロール』

佐藤友亮『身体知性 医師が見つけた身体と感情の深いつながり』

瀧野隆浩『これからの「葬儀」の話しよう』

江戸川学園取手2回

葉室麟『さわらびの譜』

井上史雄『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』

吉川 洋『人口と日本経済』

大宮開成【英数特科コース】

工藤和男『くらしを立てる』

中田永一『くちびるに歌を』

大宮開成（特待生選抜）

※円グラフ（スマホ所持率）から読み取り問題。

辻 信一『弱虫でいいんだよ』

朱川湊人『凍蝶』

岡山B

谷岡一郎『データはウソをつく』

村山早紀『百貨の魔法』

岡山白陵

高田由紀子『君だけのシネマ』

更科功『絶滅の人類史 なぜ「私たち」が生き延びたのか』

開智1回

伊藤公一朗『データ分析の力』

似鳥 鶏『午後からはワニ日和』

開智・先端A

斎藤 孝『読書力』

吉田篤弘『レインコートを着た犬』

開智・先端B

鷲谷いずみ『さとやま』

菊池 寛『弁財天の使』

開智・先端特待

萱野稔人『社会のしくみが手に取るようにわかる哲学入門』

井上 靖『しろばんば』

開智・未来・未来選抜A

萩原さちこ『図説・戦う城の科学』

瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』

開智・未来・未来選抜B

吉田夏彦『なぜと問うのはなぜだろう』

馳 星周『雨降る森の犬』

開智・未来①

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』

額賀 滯『風に恋う』

春日部共栄①午前

真田信治『方言は気持ちを伝える』

赤澤竜也『吹部!』

春日部共栄①午後

茂木健一郎『化粧する脳』

小川 糸『つばさのおくりもの』

春日部共栄②午前

斎藤 環『つながることと認められること』

森谷明子『南風吹く』

春日部共栄②午後

池谷裕二『できない脳ほど自信過剰』

唯川 恵『淳子のてっぺん』

春日部共栄③

中村桂子『いのち愛づる生命誌』

梨屋アリエ『キズナキス』

神奈川大附属A

河野哲也『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』

濱野京子『その角を曲がれば』

神奈川大附属B

榎本博明『へほんとうの自分』のつくり方』

美奈川護『弾丸スタントヒーローズ』

公文国際A

森 毅『まちがったっていいじゃないか』

星 新一『ポッコちゃん』

公文国際B

宮下奈都『よろこびの歌』

稲垣栄洋『植物はなぜ動かないのか』

慶應義塾中等部

文（不明）

慶應湘南藤沢

鈴木紀之『すごい進化』

大山淳子『あずかりやさん』

弘学館

岩井克人『おカネとコトバと人間社会』

にしがきようこ『ピアチェーレ 風の歌声』

國學院久我山一回午前

井田徹治『生物多様性とは何か』

麻宮ゆり子『碧と花電車の街』

國學院久我山（2回）

大竹文雄『競争社会の歩き方』

如月かずさ『給食アンサンブル』

埼玉栄 第1回午前

くごうえり『だれもが使えるものづくり』

有川 浩『アンマーとぼくら』

埼玉栄 第1回午後

田中俊之『男がっらいよ 絶望の時代の希望の男性学』

重松 清『デンチュウさんの傘』

埼玉栄 第2回午前

森 博嗣『集中力はいらぬ』

石川宏千花『少年Nの長い長い旅』

埼玉栄 第2回午後

泉谷玄作『日本の花火はなぜ世界一なのか』

薫くみこ『ぜんぶ夏のこと』

埼玉栄 第3回

門脇厚司『子供の社会力』

有川 浩『クジラの彼』

埼玉栄 第4回

高村是州『ファッション・ライフの楽しみ方』

小川洋子『キリコさんの失敗』

栄東A日程

宇根 豊『農は過去と未来をつなぐ』

橋本 紡『永代橋』（『いつかのきみへ』）

栄東B日程

清水義範『行儀よくしろ。』

如月かずさ『マーボー豆腐』（『飛ぶ教室47号』）

栄東（東大選抜Ⅰ）

正高信男『ニホンザルのところを探る』

恩田 陸『蜜蜂と遠雷』

栄東（東大選抜Ⅱ）

樋口清之『日本人の育ての知恵』

瀧羽麻子『ありえないほどうるさいオルゴール』

佐久長聖（東京①）

佐藤 卓『塑する思考』

横沢 彰『ナイスキャッチ！ Ⅲ』

森田良行『気持ちを表す「基礎日本語辞典」』

佐久長聖（東京②）

若田行一『続ける力』

西加奈子『おまじない』

吉野 弘 詩「夕焼け」

芝浦工大柏一回

宮澤賢治「クンねずみ」

橋爪大三郎『面白くて眠れなくなる社会学』

芝浦工大柏二回

新美南吉「花のき村と盗人たち」

森 博嗣『孤独の価値』

渋谷教育渋谷1回

保坂和志『生きる歓び』

最上敏樹『いま平和とは』

渋谷教育渋谷2回

堀江敏行『なずな』

國分功一郎『中動態の世界 意志と責任の考古学』

渋谷教育渋谷3回

辻村深月『青空と逃げる』

福岡伸一『新版 動的平衡』

渋谷教育幕張 一次

寺田寅彦『天国と国防』

若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』

渋谷教育幕張 二次

青木 淳『原っぱ遊園地』

岩城けん『Masato』

昭和学院秀英（1回）

岡田美智男『弱いロボットの思考』

白岩 玄『世界のすべてのさよなら』

昭和学院秀英（2回）

生源寺眞一『農学が世界を救う』

森沢明夫『ヒカルの卵』

昭和学院秀英（3回）

鄭 雄一『東大理系教授が考える道德のメカニズム』

森 浩美『家族ずっと』

青雲

宇根 豊『農は過去と未来をつなぐ』

辻 仁成『そこに君がいた』

松村圭一郎『うしろめたさの人類学』

成蹊一回

川上未映子『あこがれ』

橋本 治『ちゃんと話すための敬語の本』

西南学院

東 直子『いとこの森の家』

汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』

西武学園文理特選・一貫①

小浜逸郎『「弱者」とはだれか』

中田永一『宗像くんと万年筆事件』

西武学園文理特選・一貫②

渡辺淳一『読書について 断片的に』

室生犀星『幼年時代』

専大松戸（第一回）※春日部と同じ

唯川 恵『淳子のてっぺん』

池谷裕二『できない脳ほど自信過剰』

専大松戸（第二回）

安東みきえ『満月の娘たち』

斎藤 孝『まねる力 模倣こそが想像である』

中央大学附属一回

角田光代『ランドセル』

榎本野衣『感性は感動しない 美術の見方・批評の方法』

中央大学附属横浜一回

柏木 博『「しきり」の文化論』

藤岡陽子『手のひらの音符』

中央大学附属横浜二回

菅野 仁『友だち幻想』

辻村深月『家族シアター』

筑波大附属

八束澄子『ぼくらの山の学校』

田中 修『植物のひみつ』

東京農大一中（一回）

森山 徹『モノに心はあるのか』

片岡一竹『疾風怒濤精神分析入門』

桐光学園（一回）

鈴木るりか『さよなら、田中さん』

本川達夫『生き物は円柱形』

桐光学園（二回）

森 絵都『クラスメイツ（前期）』

白水 智『古文書はいかに歴史をえがくのか』

東邦大附属東邦（推薦・帰国生）

東野圭吾『滅びるものは滅びるままに』随想

石田 千『みどりちゃんの友だち』

東邦大附属東邦（前期）

元村有希子『気になる科学』

河崎秋子『頸、冷える』

東邦大附属東邦（後期）

石井桃子『近い時計屋と遠い時計屋』

菊池 寛『マスク』

獨協埼玉一回

今福龍太『学問の殻を破る 世界に向けて自己を開放すること』

さだまさし『ちゃんぼん食べたかった！』

獨協埼玉二回

辻村深月『島はぼくらと』

加藤秀俊『暮らしの思想』

獨協埼玉三回

豊島ミホ『夜の朝顔』

汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』

西大和学園（県内）

山口 周『武器になる科学』
山田詠美『ぼくは勉強ができない』
西大和学園（県外）
内田 樹『先生はえらい』
梶井基次郎『矛盾の様な真実』

武南①午前

重松 清『南小、フオーエバー』

姜尚中『君に伝えたいこと 15歳のレッスン』

武南①午後

原田マハ『でーれーガールズ』

福島 英『声のトレーニング』

星野学園（進学第1回）

高槻成紀『動物を守りたい君へ』

宮下奈都『ふたつのしるし』

星野学園（進学第2回）

行宗蒼一『勉強っていやいやするもの？』

有島武郎『一房の葡萄』

星野学園（総合選抜）

日高敏隆『春の数えかた』

恩田 陸『夜のピクニック』

星野学園（理数選抜第1回）

山崎広子『声のサイエンス』

佐藤多佳子『サマータイム』

星野学園（理数選抜第2回）

菅野 仁『友だち幻想』

森 絵都『クラスメイツ（前期）』

宮崎日本大（首都圏）

辻村深月『ロードムービー』

福岡伸一『生物と無生物の間』

宮崎日本大（前期）

小手鞠るい『心の森』

平岩時雄『99%の人が速くなる走り方』

茗溪学園①

田中彩子『天狗ノオト』

河合雅司『未来の年表』

茗溪学園推薦

桂 望実『ポイズ・ビー』

佐倉総・古田ゆかり『おはようからおやすみまでの科学』

明大付属明治一回

加藤周一『読書術』

明大付属明治二回

瀬戸賢一『日本語のレトリック』

麗澤（第一回）

中澤二郎『働く、なぜ』

喜多川泰『君と会えたから』

麗澤（第二回）

汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』

下村湖人『論語物語』

早稲田佐賀A

山口真美『自分の顔が好きですか？「顔」の心理学』

泉ゆたか『お師匠さま、整いました』

【男子校】

浅野

高橋弘希『送り火』

村上春樹『職業としての小説家』

麻布

安東みきえ『天のシーソー』

栄光学園

山崎広子『声のサイエンス』

こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ』

海城（一般①）

こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ』

斎藤亜矢『要、不要』

開成

荻原浩『空は今日もスカイ』

松村圭一郎『うしろめたさの人類学』

学習院中等科二回

本田有明『メロンに付いていた手紙』

内沼晋太郎『これからの本屋読本』

鎌倉学園1次

柳月美智子『しずかな日々』

外山滋比古『思考の整理学』

鎌倉学園2次

上野哲也『ニライカナイの空で』

杉浦明平『雑草世界の近代化』

鎌倉学園3次

吉村 康『父の列車』

高階秀爾『日本人にとって美しさとは何か』

暁星

小島陽太郎『ぼくのとなりにきみ』

慶應義塾普通部

アルトゥーロ・ヴィヴィアンテ『灯台』

浅田次郎『考える葦』

攻玉社一回

徳田秋声『初奉公』

加藤秀俊『社会学 わたしと世間』

駒場東邦

戸森しるこ『夏と百花とカルピスと』

サレジオ学院

榎木野衣『感性は感動しない 美術の見方・批評の方法』
久保寺健彦『青少年のための小説入門』

芝一回

ロメオ・ダレール『なぜ、世界はルワンダを教えなかったのか』

相沢沙呼『雨の降る日は学校に行かない』「ねえ、卵の殻が付いている」

芝二回

前野ウルド浩太郎『バッタを倒しにアフリカへ』

舟崎克彦『雨の動物園』

城北一回 長文物語1題のみ

佐藤まどか『一〇五度』

城北埼玉一回

斎藤 孝『コメント力 「できる人」はここがちがう』

外山滋比古『「マコト」より「ウン」の法則』

城北埼玉二回

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』

森 絵都『子供は眠る』

巣鴨第1期

井田 齊『魚はすごい』

群ようこ『本との距離』

逗子開成一回

杉原厚吉『スウガクって、なんの役に立ちますか?』

群ようこ『豪快一路で花開け』

逗子開成二回

外山滋比古『思考の整理学』

伊集院静『切子屋』

逗子開成三回

汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』

中島たい子『がっかり行進曲』

聖光学院一回

近藤史恵『さいごの毛布』

池谷裕二『脳には妙なクセがある』

聖光学院二回

額賀滯『完。パケ!』

平川克美『21世紀の楢岡幻想論 その日暮らしの哲学』

世田谷学園一次

渡邊格『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』

高輪A

谷崎潤一郎『文章読本』

是枝裕和『万引き家族』

東京都市大付属一回

森 博嗣『読書の価値』

魚住直子『クマのあたりまえ』

三好達治 詩三編「土」「信号」「チューリップ」

ほか俳句二句・短歌二首

桐朋一回

小川 糸『キラキラ共和国』

かこさとし『未来のだるまちゃんへ』

桐朋二回

こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ』

吉田篤弘『京都で考えた』

灘一日目

沢木耕太郎『銀河を渡る 全エッセイ』

俳句(12句)

灘二日目

稲垣えみ子『アフロ記者が記者として書いてきたこと 退職したから書けたこと』

神津カンナ『冷蔵庫が壊れた日』

岡島弘子 詩「パッチワークと刺繍」

本郷一回

宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』

門井慶喜『銀河鉄道の父』

武蔵

中脇初枝『神に守られた島』

明大付属中野一回

今井恭子『ぼくのわがまま宣言!』

ラ・サール

角幡唯介『新・冒険論』

奥田亜希子『クレイジー・フォー・ラビット』

立教新座

岩本茂樹『自分を知るための社会学入門』

小川洋子 「かわいそうなこと」

早稲田一回

有川 浩『明日の子供たち』

森 達也『たったひとつの「真実」なんてない』

早稲田二回

辻村深月『サクラ咲く』

山田太一『夕暮れの時間に』

早稲田学院

中村桂子『水も土も生き物の視点から』

吉屋信子『鈴蘭』

【女子校】

浦和明の星女子一回

高階秀爾『日本人にとって美しさとは何か』

小野寺史宣『梅雨明けヤジオ』

桜蔭

山極寿一『ゴリラからの警告 人間社会、ここがおかしい』

中脇初枝『神に守られた島』

鷗友学園女子一回

森埜こみち『わたしの空と五・七・五』

鴻巣友季子『翻訳ってなんだろう?あの名作を訳してみる』

大妻一回

西加奈子『おまじない』

稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』

白井明大『一日の言葉 一生の言葉 旧暦でめぐる美しい

日本語』(俳句)

大妻二回

辻村深月『青空と逃げる』

渡辺一夫『素敵な石ころの見つけ方』

日本短歌総研『誰にも聞けない短歌の技法Q&A』

大妻三回

藤野恵美『シヨコラティエ』

水口博也『世界の海へ、シヤチを追え!』

穂村弘・堀本祐樹『短歌と俳句の五十番勝負』

大妻嵐山①

好井浩昭『今、ここ』から考える社会学』

辻村深月『家族シアター』

学習院女子・帰国生

山本悦子『犬がすきなぼくとおじさんとシロ』

※作文問題もあり

学習院女子A

岩瀬成子『地図を広げて』

鎌倉女学院一次

辻村深月『サクラ咲く』

日高敏隆『動物たちの自意識』

鎌倉女学院一次

こまつあやこ『リマ・トウジュ・リマ・トウジュ・トウジュ』

富田啓介『はじめて地理学』

吉祥女子一回

藤岡陽子『いつまでも白い羽根』

稲垣栄洋『弱者の戦略』『植物はなぜ動かないのか』

共立女子(2/1)

花森安治 詩『灯をともす言葉』

田口幹人『まちの本屋、知を編み、血を継ぎ、地を耕す』

須賀敦子「ほめる」

共立女子(2/2)

財部鳥子 詩『水とモンゴル』

有吉玉青『ソボちゃん いちばん好きな人のこと』

榎本博明『「対人不安」って何だろう?』

光塩女子一回(国語基礎)

高槻成紀『野生動物への2つの視点』

光塩女子二回

原田マハ『リーチ先生』

藤田正勝『日本文化をよむ 5つのキーワード』

香蘭女学校

杉本りえ『100年の木の下で』

松村圭一郎『うしろめたさの人類学』

朝日新聞「天声人語」

品川女子学院一回
鶴原吉郎『EVと自動運転 クルマをどう変えるか』
西加奈子『おまじない』（「孫娘」）

淑徳与野一回
瀧羽麻子『ありえないほどうるさいオルゴール』
山極寿一『ゴリラからの警告 人間社会、ここがおかしい』

頌栄女子学院一回
汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』
辻村深月『家族シアター』

湘南白百合
田口ランディ『リクと白の王国』
辻 信一『弱虫でいいんだよ』

女子学院
ペーター・ヴォールレーベン『樹木たちの知られざる生活』
森林管理官が聴いた森の声』
夏川草介『五月の贈り物』

白百合学園（一般）
田中 修『植物のひみつ』
藤原新也『名前のない花』

清泉女学院一回
北村良子『論理的思考を鍛える33の思考実験』
高樓方子『時計坂の家』
清泉女学院二回

佐藤雅彦『考えの整頓』
芥川龍之介「白」

洗足学園一回
安田正美『単位は進化する 究極の精度をめざして』
知野みさき『鈴の神さま』

東京女学館1回
岡野薫子『桃花片』
斎藤 孝『読書力』
東京女学館4回

松浦寿輝『川の光』
池内 了『科学の考え方・学び方』

東洋英和女学院A・帰国生
ドリアン助川「台風のあとで」（『多摩川物語』）

豊島岡女子一回

松村圭一郎『うしろめたさの人類学』
石井睦美『連帯のメールを送る』

日本女子大附属一回
栗山さやか『ひとりではじめたアフリカボランティア』
光野 桃『実りの庭』

フェリス
梅崎春生「魚の餌」
岡田暁生『音楽の聴き方』

富士見一回
脇 明子『読む力は生きる力』
安田夏菜『レイさんといた夏』

雙葉
寺田寅彦『科学者とあたま』
童謡の歌詞『鯉のぼり』

普連土学園一回
前田英樹『何のために「学ぶ」のか』
堀米 薫『林業少年』

盛岡白百合（首都圏）
今江祥智『雪の帽子』
菅野 仁『友だち幻想』

横浜共立
佐藤まどか『一〇五度』
松原耕二『本質をつかむ聞く力 ニュースの現場から』

横浜雙葉
瀬戸内寂聴『青い花』
小野雅裕『宇宙に命はあるのか 人類が旅した一千億分の八』

立教女学院
森 博嗣『読書の価値』
瀧羽麻子『ありえないほどうるさいオルゴール』